

共同輸送に至った経緯と今後の取り組みについて

1. 共同輸送実施に至った経緯

平成23年5月に「徳山下松港・宇部港」が国土交通省の「国際バルク戦略港湾※」に選定された後、両社を含む港湾利用企業が設立した「山口県国際バルク戦略港湾連携協議会（以下「協議会）」において、企業間連携による効率的な海外炭物流体制について検討を進めるなかで、両社の認識が一致し、実施に至ったものです。

※ 国際バルク戦略港湾

産業の国際競争力強化を目的として、バルク貨物（石炭、穀物など包装せずばら積みされる貨物）の大量輸送の実現とそれによる物流コストの低減に向け、国内の港を選定し集中的に整備するもの。

2. 今後の取り組み

今後、徳山下松港および宇部港が国際バルク戦略港湾として整備され、大型船を利用した大量輸送が可能となることにより、物流コストの低減とともに共同輸送の本格運用の実現性も高まるものと考えています。両社においては、今回の取り組み以外にも、引き続き、協議会のメンバーと協調して、両港を活用した企業間連携を検討して参ります。

3. 協議会メンバーが関わる海外炭共同輸送実績（平成28年3月11日現在）

〈宇部興産、中国電力による共同輸送〉

積地	インドネシア・サマリンダ沖
揚地	宇部港
出発日	平成26年12月4日
到着日	平成26年12月13日
輸送量	約7万トン（宇部興産約4万トン、中国電力約3万トン）
輸送船	8万トン級パナマックス船

〈宇部興産，中国電力による共同輸送〉

積地	オーストラリア・ニューキャッスル港
揚地	徳山下松港（下松地区）および宇部港
出発日	平成26年12月24日
到着日	徳山下松港（下松地区）：平成27年1月8日 宇部港：平成27年1月10日
輸送量	約10万トン（宇部興産約3.5万トン，中国電力約6.5万トン）
輸送船	10万トン級スモールケープ船

〈四国電力，中国電力による共同輸送〉

積地	オーストラリア・ニューキャッスル港
揚地	福山港
出発日	平成27年4月5日
到着日	平成27年4月19日
輸送量	約14万トン（四国電力約8万トン，中国電力約6万トン）
輸送船	18万トン級ケープ船

〈出光興産，トクヤマによる共同輸送〉

積地	オーストラリア・ニューキャッスル港
揚地	徳山下松港（徳山地区）周南バルクターミナル
出発日	平成27年6月2日
到着日	平成27年6月17日
輸送量	約6万トン

〈出光興産，トクヤマ，中国電力による共同輸送〉

積地	オーストラリア・ニューキャッスル港
揚地	徳山下松港（徳山地区）周南バルクターミナル
出発日	平成27年12月11日
到着日	平成27年12月27日
輸送量	約8万トン（出光興産・トクヤマ：約3万トン，中国電力：約5万トン）
輸送船	9万トン級オーバーパナマックス船

以上